

AIRHEADS通信

vol.

62

永久保証とアナログなボタンがうれしい！ 再考すべきLANスイッチ選択その2

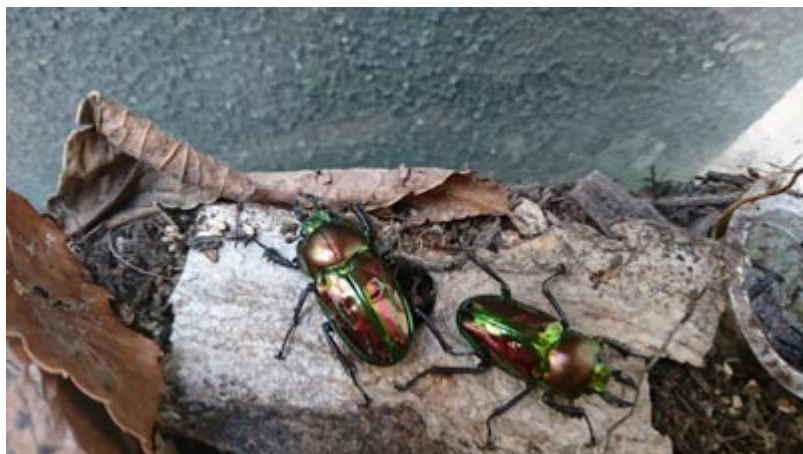
平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

パートナーSEを担当している山田 雅之と申します。

ご存知の方はいらっしゃると思いますが、Arubaには山田が3名ほど在籍しています。まあ、苗字の中でもベスト20に入るメジャーな名前ですので、当然被るのは致し方ありません。普段は「山田（ま）」で通っています。

さて、先日は3連休でしたが、皆様どうお過ごしだったでしょうか。家族の中でも元気だったのが、ムシキングが大好きな息子の宝物である“ニジイロクワガタ”です。

きらびやかな躯体をアピールするこのクワガタ、実はパプアニューギニア原産で猛暑には強いタイプ。そりゃそうですよね、現地は年間平均気温が27°C前後、最高気温が35°C前後という熱帯地域で生活していたんですから。



かくいう私は連日の猛暑にバテ気味でしたが、子供たちは連日庭で展開しているプールに入って大はしゃぎのご様子！！

ここまで猛暑が続くと、さすがに私もプールに飛び込みたかったのですが、どうしても家の敷地がバス停から丸見えという立地のため、羞恥心が...



結局ビールを片手に、猛暑の一時を過ごすという、大人の贅沢を味わいました。家族には熱中症対策だからと言い張りましたが、

**実はアルコールは体内で熱に変わって体を温めてしまうらしく
熱中症対策としてはNGのようで...**

大人の皆様、お気を付けてください。

永久保証とアナログなボタンがうれしい！ 再考すべきLANスイッチ選択その2



そもそもGUIへアクセスする手順や対応環境も結構違いがあり、きちんと選ばないと運用に入ってから苦勞するケースもあり得ます。実際には運用時に役立つアナログな機能も意外と備わっているため、LANスイッチ選択の際にはしっかり考えておきたいところ。大輔も美咲もここまで違いがあるとは思っていなかったようで。



大輔 (だいすけ)

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲 (みさき)

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



み、美咲くん、大丈夫？



はっ！取り乱しました。



おお、冷静になったかな。もう怒ってない？



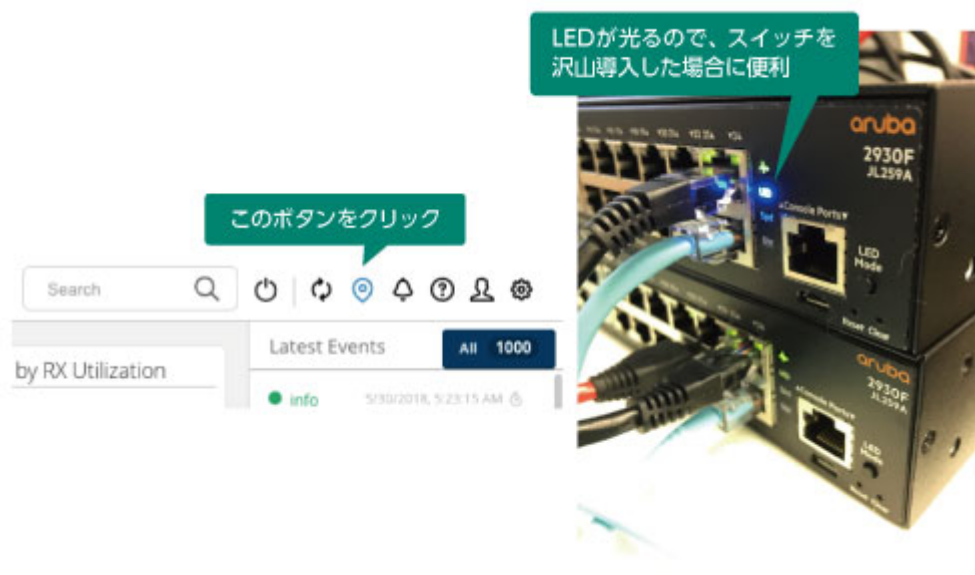
怒ってないですよ。ただ、普段LANスイッチをしっかりと検討していなかった自分のふがいなさに愕然としただけです。



あ、そう。そこまで思いつめなくても。



じゃあ、こんなのはどうデス？



うお！なんかスイッチが光った！何これ？誰が得するの？



リモートからLEDを点灯できる機能デス。



そうか、たくさんスイッチが入っていても、遠隔地から光らせることができるので、リモートで現場に指示しても間違えないような工夫ってことね。やるわね、Aruba。



機嫌を直していただいてよかったデス。



いや、本当に良かった。



あとは、GUI経由でスイッチの再起動もできますし、スイッチの物理的なクリアボタンでパスワードリセットも行えます。
ようはスイッチの初期化が簡単というわけデス。



Clearボタンでパスワード
消去、Clear+Resetボタンを
使って設定の初期化が可能



小さなことだけど、いろいろ工夫が施されているんだねえ。



日本の製品だと、パスワードが分からなくなると、故障品として扱わないといけなくなるケースもあるみたいですよ。



ひえー、それは勘弁、勘弁。
使い勝手以前にアクセスできなくなることは回避しないと。



しかし、小さな違いですが、日々の運用ではストレスに感じてしまうこともあるので、しっかり見ておきたいところですね。



機能ではないデスが、大きいのはコレかと。
Arubaのスイッチはlifetimewarrantyだということデスね。



ライフ...笑ってえ??って?



ライフタイムワランティとは、製品を所有している限り無償保証が続くという考え方です。



えっ!? そうなの? そんな太っ腹なサービス、あるの?



長い無償保証が続くことが気に入って、ArubaのLANスイッチを検討する人も実は少なくないんデス。



ずっと無償保証というのはすごいですね。



そりゃメリットがあるもんねえ。
ま、なかなか壊れないところかもしれないけど、とても安心だよな。



まあここまでLANスイッチについて見てきましてが、無線LAN環境も考慮すると、Arubaスイッチを導入するメリットは当然出てくると思いマスよ。



そうか、すっかり忘れてた！！今度作る拠点にも無線LANを展開するんだった。



でもどの辺にメリットが出てくるのかしら。



Aruba APの検知やポート設定も容易に実施できるのはもちろんですが、クラウド上で無線が管理できるAruba CentralでもLANスイッチが管理できるようになります。



じゃあ、有線と無線の統合管理が可能ってこと？



そうなりマスね。



じゃあ、わざわざスイッチにアクセスしなくても、Aruba Centralにアクセスすればいいってこと？



そうデスね。
クラウド上の管理画面からAPもLANスイッチも詳細に管理できマス。



それは大きいですね！



助かるわー。
本来は、無線と有線の管理を分けること自体がナンセンスだもんね。



ほかにも、Arubaをうまく活用すれば、静的にVLANを設定することでアクセス制御するような仕組みからおさらばできマス。
以前紹介しましたが、覚えていマスか？



確かGREトンネル機能（Tunneled Node）によってVLANを細かく設定せずともセキュリティを高めることができたんですよ。



覚えてるよ。無線コントローラとAPやLANスイッチの間にトンネルを張れば、パケットの中身が判別できるようになるので、VLANに頼らずともセキュアな環境が作れると。“さよならVLAN”ってやつだね。



まあTunneled NodeはどのメーカーのLANスイッチでもオーバーレイで無線コントローラとAP間をトンネルでつなげるノデ、ArubaのLANスイッチだから、というのではないんデスけどね。



でも有線と無線が統合管理できるのはありがたいよ。



LANスイッチもしっかり進化しているようですね。



いやー、完全に油断してたわ。もっと勉強しよ。



大輔さん、そもそも油断してないことのほうが少ないっすか...

【おしらせ】

Airheadsアカデミーシーズン2 第1回の動画を公開しました！

下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブルトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブルトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！無線LANトラブルの回避トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)
- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！マカオ「APAC Atmosphere 2017」レポート (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ...事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレーレポート (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~60)
- ▼ 再考すべきLANスイッチ選択 (vol.61~)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。